

Be a driver.



CARS THAT STRIVE TO CREATE AND PROVIDE NEW VALUE

OPEN YOUR HEART





TO
A
NEW
WAY
TO
LIVE

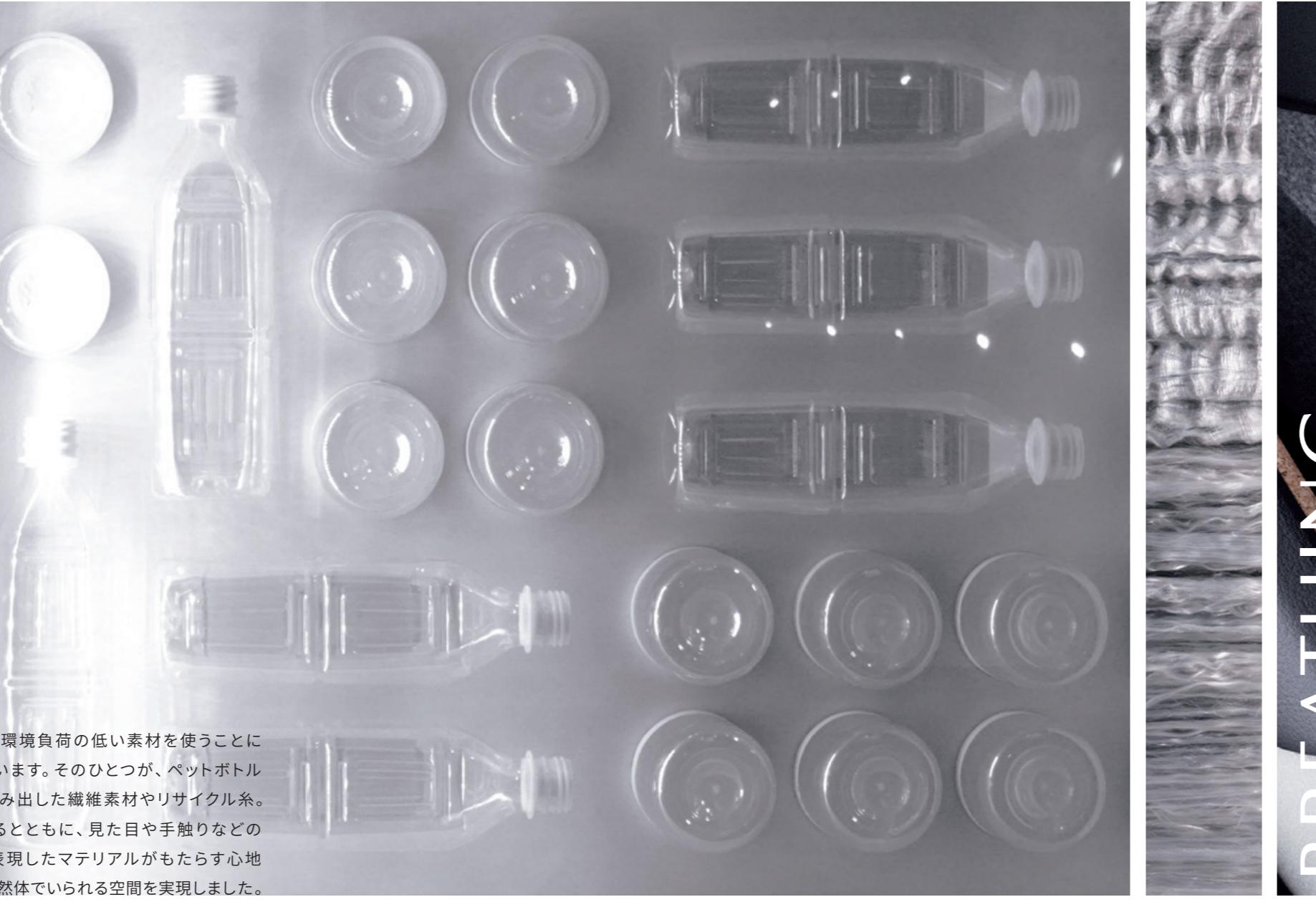
HERITAGE CORK

1920年、広島に生まれた「東洋コルク工業」。マツダの歴史は、ここから始まりました。コルクの瓶栓などの製造から機械製造、そして自動車メーカーへ。100年を経たいま、再びコルクと巡り合います。天然由来の自然な温かみを持ち、しかも樹木を伐採せずに採取できる魅力的なマテリアル。環境にやさしく、マツダのヘリテージとも結びつく、特別な素材のひとつです。

ESTD. 1920
HIROSHIMA, JAPAN

SUSTAINABLE MATERIAL

MX-30の室内空間は、環境負荷の低い素材を使うことにこだわってつくり込んでいます。そのひとつが、ペットボトルのリサイクル原料から生み出した繊維素材やリサイクル糸。環境への配慮を追求するとともに、見た目や手触りなどの質感、自然な風合いを表現したマテリアルがもたらす心地よさによって、開放的で自然体でいられる空間を実現しました。



BREATHING FIBRE



DENIM-LIKE FABRIC

BE ECO- FRIENDLY





Photo: (P14) Modern Confidence 2WD(FF) Body Color:ポリメタルグレーメタリック メーカーセットオプション:セーフティパッケージ、360°セーフティパッケージ、ボーズサウンドシステム(AUDIOPILOT2+Centerpoint2)+12スピーカー

BE
A
DRIVER.

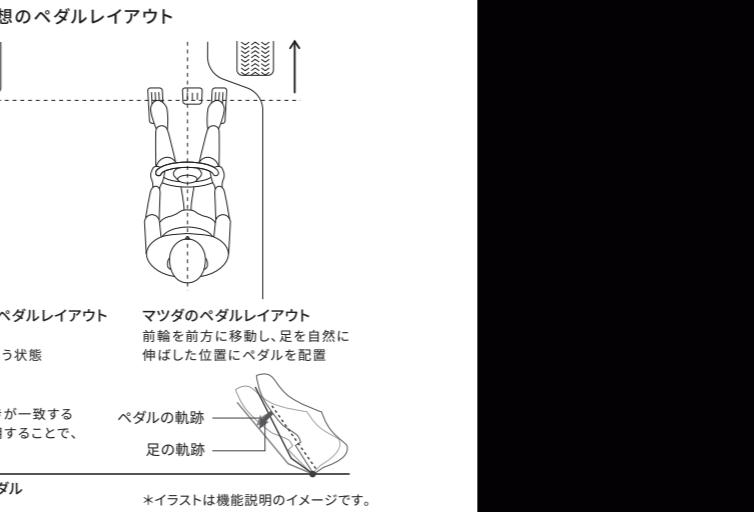


DRIVING POSITION

「まっすぐ座れる。あたりまえのことだと思っていませんか。」

すべての「走る歓び」は、ドライビングポジションから生まれる

まっすぐな姿勢でシートに座り、自然に足を伸ばした先にペダルがあること。これが、マツダが理想とする走りの基礎であり、クルマを意のままに操る楽しさの基本です。スカイアクティブ テクノロジーの開発とともに、クルマの設計をまったくのゼロから見直して前輪を前に移動させたのは、まっすぐに座れることを第一に考えているからこそ。そしてアクセルペダルに、人間の足の動きとペダルの軌跡がずれにくいオルガン式ペダルを採用しているのは、自然な姿勢で運転できることを追求しているからこそ。この想いによって、マツダはクルマの大小に関わらず、すべてのモデルで理想のペダルレイアウトを実現しています。正しくペダルを踏めること。マツダの「走る歓び」は、そこから生まれています。



HUMAN MACHINE INTERFACE

「情報整理すると生まれる、心の余裕。」



乗る人の安心を支える、人間中心で磨き上げたシンプルな情報レイアウト
さまざまな装備や技术の进化によって“クルマでできること”が増える一方で、運転中にドライバーが処理しなければならない情报量も増えてしまいます。そこでマツダは、ドライバーが多様な情報を適切に扱いながらも、安心して安全に運転できる环境づくりに注力。人間中心の考え方のもと、絶えず確認が必要な情报／クルマの状态を確認する情报／快適・利便性のための情报の3種類に整理し、各デバイスに最適に配分したシンプルな情報レイアウトをすべてのモデルで実现しました。さらにMX-30ではエアコン操作をタッチパネル化することで、すばやく直感的な操作がしやすいうようにしています。ドライバーが心に余裕を持って、しっかりと運転に集中できるコクピットであること。それが、乗る人全員が安心してドライブを楽しむための基本になると、マツダは考えています。

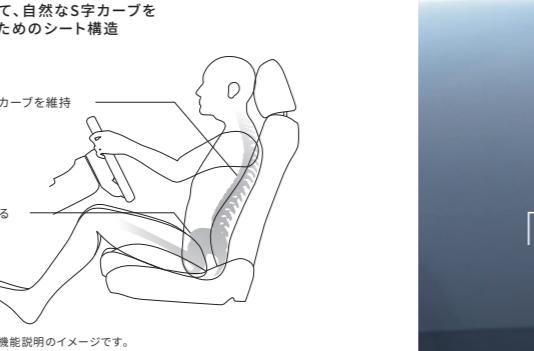


クルマとの心地よい一体感を実現した車両構造技術

移動における人間の理想状態とは何か。マツダが導き出した答えは、「歩行」でした。例えば人間は歩くとき、段差を越えたりしても特に揺れを感じることなく進むことができます。それは、人の体には自然にバランスを取ろうとする能力が備わっているから。マツダは、この能力をクルマづくりに応用しようと考えました。そして生まれたのが、究極の「人馬一体」を目指した車両構造技術、SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTUREです。座れば骨盤が立ち、背骨が自然なS字を描くフロント&リアシート。路面からの力を遅れなく、滑らかに伝えるボディとシャシー。これらが一体となって機能し、後席も含めたすべての乗員が無意識に体のバランスを取りながら、クルマの動きをまるで自分の体のように感じることができる心地よい走りを提供します。



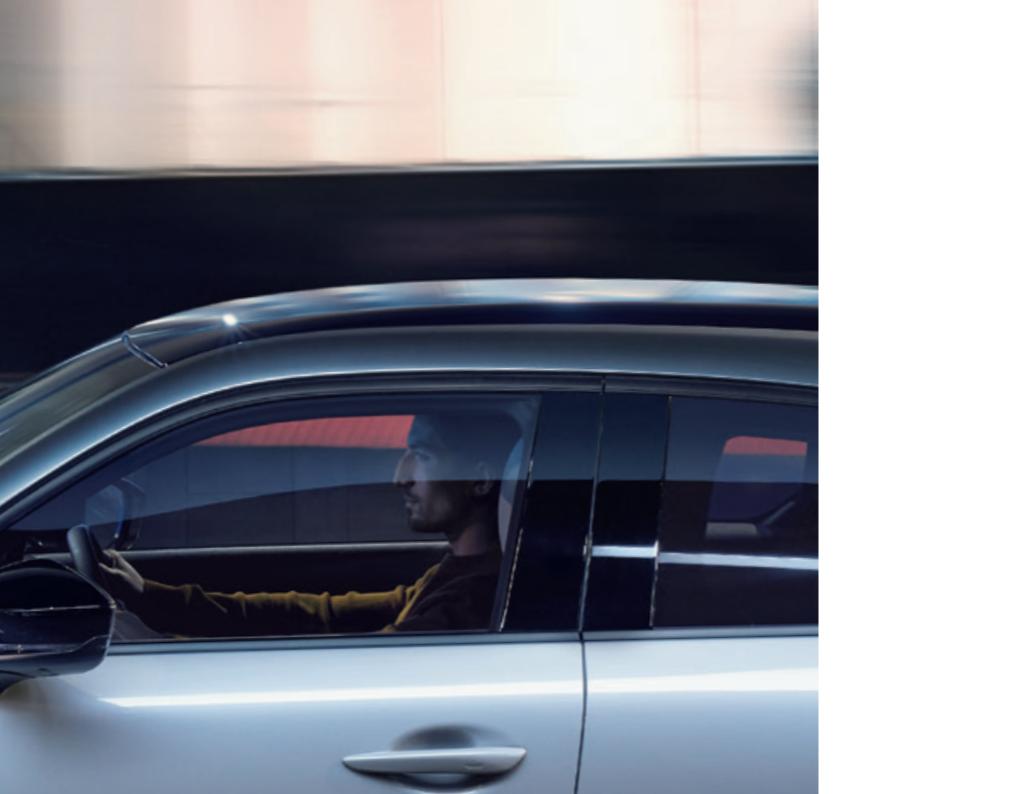
*画像はイメージです。



*イラストは機能説明のイメージです。

SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE

「自分の足で歩いているかのように。」



「新しいライフスタイルへの扉を、ここから。」



FREESTYLE DOOR

思いのままに、自由に使えるフリースタイルドア

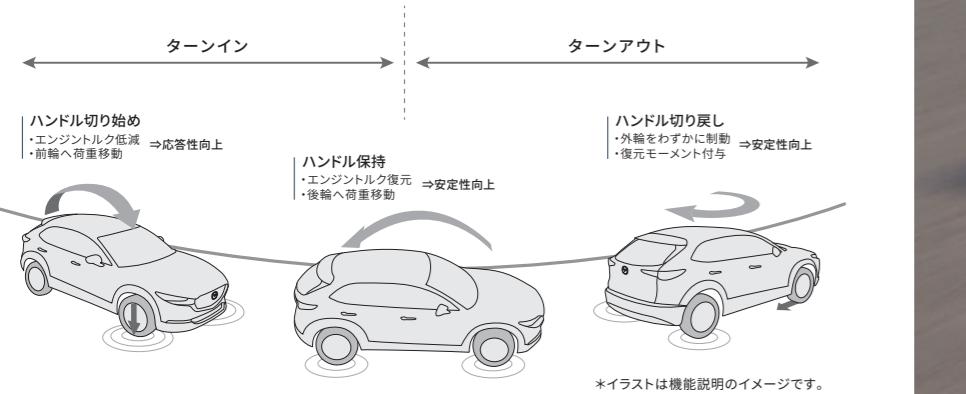
もっと自由な発想で、さまざまな使い方でクルマを楽しんでいただきたい。その想いから生まれたのが、MX-30のフリースタイルドアです。センターオープン式の個性的なドアを開け放てば、そこにはこれまでのクルマにはなかった景色が広がります。大開口を遮るものない、外の世界と室内空間が一体となったかのような開放感。その新しい感覚は、ライフスタイルやクルマの使い方に新たな風を吹き込みます。また、ベビーカーでのアクセスやチャイルドシートへの乗せ降ろしのしやすさ、人間特性に基づいたドア周りの造り込みによる乗り降りのしやすさなど、幅広い使い勝手のよさも備えています。移動することなく前後ドアを開閉できることも、フリースタイルドアならではの特長です。人もクルマも、もっと自由に。MX-30のフリースタイルドアには、この想いが込められています。

「さまざまな路面で、
思いのままの楽しい走りを。」

思いのままの走りを支え、世界を広げるテクノロジー

タイヤの接地状態を最適化してスムーズで効率的な車両挙動を実現するG-ベクトリング コントロール(GVC)。進化したG-ベクトリング コントロール プラス(GVC Plus)では、ドライバーの素早いハンドル操作に対する車両の追従性を高めるとともに挙動の収束性をサポートします。これにより、緊急時の危険回避能力を向上させるとともに、高速走行時の車線変更や、雪道など滑りやすい路面環境においても、より安心感のある走りを提供します。さらにMX-30のi-ACTIV AWDは、GVCと協調して車両運動性能を向上させる制御を採用することで、ドライバーの積極的な運転操作にも応える意のままのコントロール性を向上させました。また、悪路走破性を向上させるオフロード・トラクション・アシストも採用しています。いつでも、どこでも、すべての乗員が気持ちよく走りを楽しめるように。i-ACTIV AWD×GVCが、クルマとの世界をもっともっと広げていきます。

*G-Vectoring Control:車両の加速度(G)を方向付ける(Vectoring)制御(Control)



AWD × G-VECTORING CONTROL



i-ACTIV AWD

タイヤの動きやGセンサー等の情報から車両の走行状態をリアルタイムに検知し、路面状況やタイヤの荷重状態の変化を素早く予測。状況に応じて前後輪へのトルク配分を自動的に最適化する先進のAWDシステムです。雨や雪などの滑りやすい路面ではもちろん、ドライ路面においても4輪のタイヤの力を効率的に引き出せるように適切にトルクを配分し、スムーズで安定した走りを提供します。

<4WD全車>

オフロード・トラクション・アシスト

悪路からの脱出が困難な状況においても、オフロード・トラクション・アシストを作動させることで、AWDとトラクション・コントロール・システム(TCS)が協調してタイヤの空軋を抑制。路面に接地しているタイヤへ適切に駆動力を分配し、トラクション性能を最大限に引き出します。また、ドライバーがまるで直接触れているかのように直感的に路面状況を把握することができるフィードバック特性にチューニングすることで、ドライバー自身がタイヤのスリップを緻密にコントロールでき、結果的に無駄なエネルギーを使うことなく悪路を走破することが可能。悪路においても人馬一体のコントロール性を提供することで、スタックの回避をサポートします。さらにヒル・ローンチ・アシスト(HLA)とも協調し、悪路においても登坂時の車両の後退を抑制。エンジンやシャシーをはじめとするスカイアクティブ テクノロジーが従来から持つ応答性のよさと相まって、悪路を含めたさまざまな路面環境においてドライバーの意のままの走りを実現します。

<4WD全車>



M

HYBRID

「ドライブの楽しさを、新たなステージへ。」

洗練のドライブフィールを発揮する e-SKYACTIV G

心地よい走りを実現する直噴ガソリンエンジンSKYACTIV-G 2.0にマイルドハイブリッドシステムM HYBRIDを組み合わせたパワートレイン、それがe-SKYACTIV G 2.0です。M HYBRIDはモーター(ベルトISG^{*}方式)と24Vリチウムイオン電池、DC-DCコンバーター、回生協調ブレーキからなるシステム。減速エネルギーを回生して電力として活用するほか、発進加速時のモーターによる駆動アシストなどによって、走り・燃費・環境性能をより高いレベルで実現します。乗れば乗るほど、毎日の運転が楽しみになる。e-SKYACTIV G 2.0は、そんなドライビング体験をお届けします。

*ISG : Integrated Starter Generator



e-SKYACTIV G 2.0

*画像はイメージです。



「聞こえてくるのは、
心地よくデザインされた音。」

乗る人すべてが気持ちよく過ごせる、上質な音響空間
ただ静かなだけでなく、人間が心地よさを感じられる。それが、マツダの
考える静謐性です。そのために、不快な騒音を抑えるとともに、音が
耳に届くまでの経路や変化の仕方までをも徹底的にコントロール。
このクルマに乗る人すべてが、ドアを閉めた瞬間、そして走るたびに、
気持ちがすっきりと研ぎ澄まされる感覚を味わえます。そして音響
空間としてのポテンシャルを高めたうえで、音の伝わり方と人間特性に
基づいて磨き上げたオーディオシステム、「マツダ・ハーモニック・
アコースティックス」を搭載。高音質でクリアなサウンドを、豊かな
臨場感とともにお届けします。

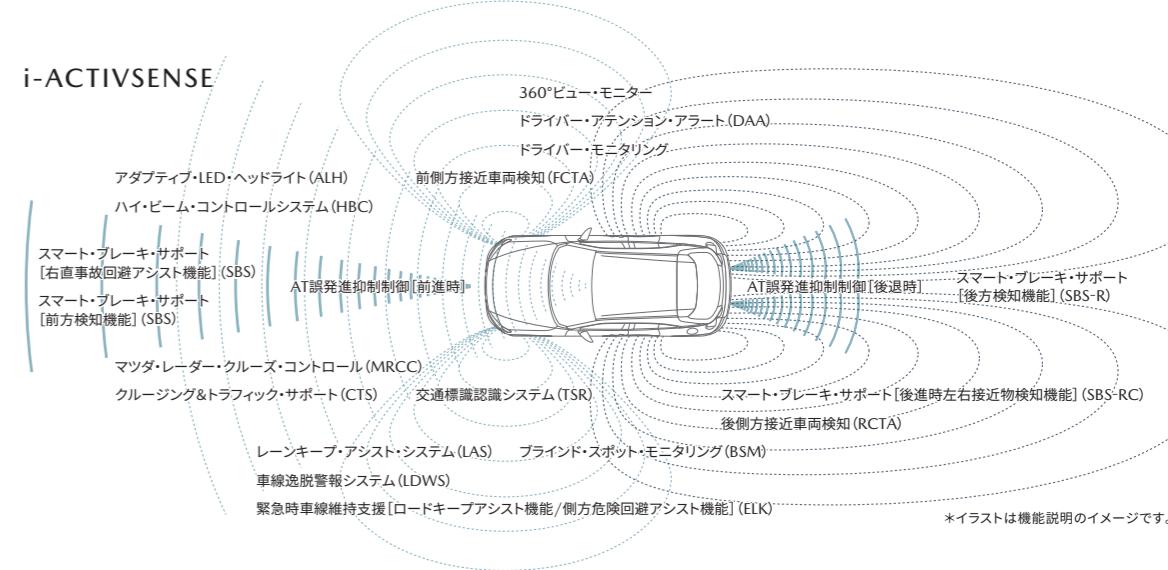
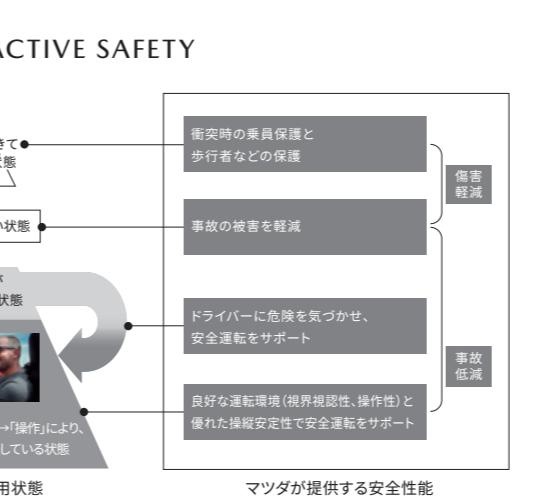
MAZDA HARMONIC ACOUSTICS

「ドライバーが主役。それが乗る人すべての安心につながります。」

MAZDA PROACTIVE SAFETY

乗る人すべての安心と安全、そして楽しさのために

前に迫った事故を避けるための被害軽減ブレーキは、今や、どんな自動車にも不可欠な安全技術になりました。しかしマツダは、それだけで満足はしません。危険な状況になってからそれに対処するのではなく、事故や危険につながる、もっともっと前の段階から、安全について考え、設計する。先進安全技術のみならず、ドライビングポジション、情報レイアウトや視界などの運転環境、そして走行性能も、その考えに基づいて造り込んでいます。すべては、ドライバーが安心して運転できるように。クルマに乗る人全員が、「走る歓び」を思う存分満喫できるように。それが“MAZDA PROACTIVE SAFETY”。マツダの安全に対する独自の考え方です。





EDGY STYLE

MX-30 の世界観を広げるショップオプション

固定概念から解き放たれて誕生したMX-30だからこそ、お客様には自由なスタイルで自分だけのMX-30に乗っていただきたい。エクステリアに革調アクセントという新しい提案を中心に、流行に左右されず、自分らしいライフスタイルを実現するスタイリングパッケージがEDGY STYLEです。

MX-30アクセサリーページ▶



「自分らしくありたい人へ、
自分だけのMX-30を。」